

「校長あいさつ」

～育てたい力を明確にし「すすんで学び、よりよく生きる人を育てる」～

校 長 三 浦 祐 一



平成31年度は山形校1名、天童校2名、本校は小学部・中学部・高等部合わせて44名の新入生を迎えスタートしました。児童生徒数は本校が昨年度より9名増えて140名、山形校、天童校は昨年度と同様です。児童生徒数は増加傾向が続いており、特に今年度は高等部生の増加が顕著です。入学式の式辞の中では「保護者の皆さまに村山特別支援学校に入れて良かった」と思っていただけのように、教職員一丸となって取り組んでいくことをお伝えしました。

「学校の教育目標」、「めざす子ども」、「めざす学校」については、昨年度を踏襲しています。子どもたち一人一人に育てたい力を明確にし、「めざす学校」環境のもとで、教育目標に向けた営みを行ってまいります。詳しくはホームページの「学校の概要」をご覧ください。

本校は開校12年目、山形校と天童校は開校6年目になります。一年一年歴史を刻んでまいりましたが、今年度は特に以下の点を重点として取り組んでまいります。

このことは、4月27日（土）学校経営説明の折に保護者にも説明した内容です。

1 安心、安全な学校

- 相談しやすい学校、相談窓口の明確化
- 食の安心、安全
- 登下校の安全

2 一人一人に応じた指導・支援の充実

- 個別の教育支援計画と個別の指導計画の見直し活用 → 教育課程の検討、編成
- 一人一授業、ミニ研修会の実施
- キャリア教育の視点からの支援

3 保護者の方々や地域への情報の発信

- 子どものこと、行事のことを保護者や地域の方に発信
- 進路や福祉に関する情報提供
- 授業参観、各種行事等をとoshit開かれた学校

私たち教職員は、子どもたち一人一人が今もっている力や特性を的確に把握し、また本人や保護者の思いや願いを踏まえ、育てたい力を明確にします。その上で、必要な知識や技能、思考力、判断力、表現力などを、子どもたちが受け身ではなく主体的にすすんで学び身につける日々の授業を展開していきます。そのことが、卒業後の生活の中で、暮らすことや働くこと、余暇を楽しむことなどを生涯にわたってよりよく生きることができる人を育てていくことにつながると考えています。

今年度も皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。